

市民伝言板

サークル会員の募集やイベント情報を掲載するコーナーです。
 申し込み方法→掲載月の3か月前の1日(土)(日)(祝)の場合は、その翌日)
 午前9時から電話で広報広聴係(☎71)2202)へ
 ※先着順。9月1日号の受け付けは6月1日(休)からです。掲載するには
 注意事項があります。本紙3月1日号をご覧になるか、同係まで問い合
 わせてください。

時とき 場ところ 会費・入場料など 定員・募集人数
 対象 講師 他その他 申し込み方法など 問い合わせ先

ベビーサインイベント@桜井

時 5月10日(火)午前10時~11時
 場 桜井福祉センター 会費 ¥500円
 定 20組(先着順) 対 5カ月~2
 歳の子とその保護者
 申 5月5日(祝)から稲吉千恵さん
 (☎090<9026>4569)へ

第2回絵手紙楽遊会合同展

絵手紙400点を展示します。
 時 6月1日(休)~26日(日)午前10時
 ~午後4時 場 ライフパートナ
 ー杏(高木町)
 問 野村綾子さん(☎71)0555)

福祉気功クラブ会員募集

時 毎週(土)午前9時30分~11時30
 分 場 総合福祉センター 会費 年
 額1万1000円 定 5人(先着順)
 対 60歳以上 他見学可
 申 5月7日(土)から深津浩介さん
 (☎090<7302>1124)へ

宮川雪江古希記念作陶会

十色会20年を記念して、個性
 豊かな作品を展示します。
 時 5月13日(金)~15日(日)午前10時
 ~午後5時 場 安祥閣
 問 大西悦子さん(☎090<9903>
 2966)

海外支援衣料回収活動

家庭で眠っている衣類の提供
 をお願いします。
 時 6月4日(土)午前10時~正午
 場 アピタ安城南店 他回収でき
 ない衣類もあります 問(株)デン
 ソー兵藤辰夫さん(☎96)0101)

英会話サークル喜楽会

身の回りの出来事を気軽に楽
 しく語り合い交流します。
 時 毎週(土)午前9時45分~11時30
 分 場 文化センター 会費 3カ月
 1万5000円 問 徳永宏さん(☎
 090<9262>6512)

アフリカへ毛布をおくる運動

アフリカの人へ真心を込めて
 毛布をおくりませんか?
 時 5月15日(日)午前10時~午後2
 時 場 ピアゴ安城店 問 アフリ
 カへ毛布をおくる運動推進委員
 会服部賀優さん(☎75)8183)

子育てサークルJamJam

未就園児対象のサークルです。
 友達をつくりませんか?
 時 毎月第2・4(火)午前10時~正
 午 場 東部公民館 会費 半年2000
 円 問 川瀬舞衣子さん(☎090
 <9909>6972)

水墨画豊墨会

水墨画が楽しく描けます。
 時 毎月第1・3(土)午後1時30分
 ~4時 場 中部公民館 会費 月額
 2500円 定 5人(先着順)
 申 5月5日(祝)から中村秀康さん
 (☎97)0501)へ

チャリティーミニコンサート

津軽三味線と民謡のコンサ
 ートです。全国大会優勝者も出場
 時 5月29日(日)午後1時30分から
 場 昭林公民館 会費 ¥1000円
 問 津軽三味線雅會(☎0532<62>
 9896)

うたの会そよかぜ

歌の好きな人、みんなでコー
 ラスを楽しみましょう。
 時 毎月第1・3・4(火)午後1時
 30分~3時 場 文化センター
 会費 月額3000円
 問 平澤とも子さん(☎76)6955)

英語で自由に討論しませんか

時 毎月第2・4(土)午後6時30分
 ~8時30分 場 作野公民館
 会費 ¥1回1000円 対 英語で日常会
 話ができる人
 問 瀬戸勝幸さん(☎080<5132>23
 77)



サークル紹介

安城新体操クラブ

体操大好き♪

私たちは、子どもの新体
 操グループです。体操大好
 きなメンバーが集まってい
 ます。基礎のステップや柔
 軟の練習。リズムに合わせ
 て実技をすることで、リズ
 ム感や協調性、集中力がつ
 きますよ。



メンバーからは「毎週楽
 しみ」「ボールやロープなど
 を使うのが楽しい」という声も。一緒に新体操を楽しみましょう。

時 対 毎週(木) キッズ(3歳~小学1年生)→午後5時~5時45分 ジュニ
 ア(小学2年生~中学3年生)→午後6時~7時 場 市体育館 会費 月額
 5000円 問 神杉優子さん(☎76)4785)



輝いてます

安城更生病院医療チーム 東日本大震災被災地へ派遣

依然、甚大な被害が続いている
 東日本大震災。その発生当日に、
 現地へ医療派遣したのが安城更生病院です。

◆誰もが同じ思いで集まった

私たちの病院には、災害時に緊急
 出動できる「DMAT(災害時緊急医療派遣チーム)」の研修を受けた
 スタッフが10人います。職種は
 医師、看護師、薬剤師、事務と多
 岐にわたっています。実際の出動
 は、本人の志願で決まるのですが、
 当日午後7時には10人全員で安城
 を出発。「1人でも多くの命を助け
 るために」誰もが同じ思いでした。

◆どうすべきか…

被災地では、医療情報収集や避
 難所の巡回診療、ドクターヘリで
 の搬送などが任務でした。被災者
 の多くは、家を流されたり、家族
 を失ったりと、とても悲惨な状況。
 カルテを作るために、住所を聞く
 のがとても苦しかったです。それ

なのに、どの被災者も「よく愛知
 から来て下さった、ありがとう」
 とねぎらいの言葉をかけてくれる
 のです。とにかく自分の任務を必
 死にこなそうと思いました。

◆現地への思い

一番強く思ったことは、もっと
 長く活動してあげたい、というこ
 とでした。最初の派遣以後、県の
 医療救護班としても2度出動し、

気持ちです。

◆安城市が被災地になったら

DMATなど医療派遣チームは
 全国にあるので、何かあれば駆け
 つけてくれると思います。しかし、
 その時は当院が医療活動の中心に
 なるでしょう。今回の経験から得
 られたものを、今後の体制づくり
 に活かしたいと考えています。



DMATと被災者